

横須賀市博物館研究報告(自然科学)投稿規定

1. 原稿は、オリジナルな研究論文(学術論文として他で印刷発表されていないもの)、総説(ある分野の論文や学説などを総括、論説、あるいは紹介するもの)、短報(速報や、新事実などの簡単な報告など)、あるいは編集委員会が適当と認めた事項とする。
2. 原稿量は刷り上り 20 ページ以内を原則とし、短報のみ刷り上り 4 ページ以内とする。
3. 第 1 ページには表題、著者名、5 語以内のキーワードを、和文と英文でそれぞれ表記する。
4. 要旨は、和文 400 字以内と英文 200 語以内で両方記載する。ただし、短報のみ要旨は必要ない。
5. 提出原稿は A4 版とし、四辺に 3 cm 以上の余白を残す。
6. フォントサイズは 10.5–12 pt、改行ピッチはダブルスペースで 25 行とする。
7. 学名はイタリック体とし、資料の収集年月日は、原則として 8 桁の数字とする(例 20070630)。
8. 文 献
 - a. 文献は引用文献とし、論文末につける。
 - b. 文献の書き方は著者名、西暦年、表題、雑誌名、巻、号、ページ、出版社の順とする。

Arkell W. J. 1957. Introduction to Mesozoic Ammonoidea. In Moor R. C. ed. *Treatise on Invertebrate Paleontology*: 81–129. Geol. Soc. America and Univ. Kansas Press.

岡田 要・内田 亨 1965. 新日本動物図鑑(下). 363 ページ. 北隆館.

Sugiyama T. and Ito M. 1935a. On the variation of the shells of *Umbonium* from Japan. *Jour. Zool. Soc. Japan*, **42**(5): 404–430, pls. 1–3. (in Japanese with English abstract)

高木和徳 1965. 日本産ハゼ垂目の分布および生態. 東京水産大研報, **52**(2): 83–127, 図版 1–3.

海上保安庁 HP. 海上保安庁海洋情報部, 2024. 海洋速報 & 海流推測図 バックナンバー. <https://www1.kaiho.milt.go.jp/KANKYO/KAIYO/qboc/backnumber.html>. (2024 年 11 月 30 日参照)
 - c. 文献の並べ方は著者名の ABC 順とし、同一著者が 2 つ以上ある場合は年次順に並べ、同一年の場合は発表順に a,b,c をつけて区別する。同一著者の文献が 2 つ以上ある場合でも著者名を省略しない。
9. 図 表
 - a. 原稿の図の大きさは A4 (30×21 cm) を限度とし、刷り上がりサイズの指定は 14.5×21 cm を限度とする。
 - b. 図表の説明は、図版と別頁に分けて書き、図表の挿入位置を本文の余白に示す。
 - c. 地図類には縮尺と方位をつける。
10. 原稿は原則として電子データとし、提出にあたっては、所定の様式に沿って原稿整理カードを作成し、締切日(毎年 8 月 31 日)までに両者を 1 部ずつ提出すること。編集委員会の指示に従って提出すること。
11. 原稿の採択や添削などは、編集委員会に一任する。
12. 本誌に掲載された論文の著作権は、横須賀市自然博物館に譲渡されることとする。